

# おひさま BUN・SUN メガソーラープロジェクトについて

(※BUNは束ねるという「bunch」の略)

## 1 プロジェクトの特長

ポイント1 県有財産を戦略的に活用した分散型の太陽光発電事業

- ① 県有施設の未利用スペースを有効活用することにより、新たな収入源の確保（賃料等の収入）
- ② 単独では事業性の少ない小規模施設も、事業性の高い施設とセットで貸し出すことで、効率的な自然エネルギー普及を促進

ポイント2 地域の資源、力（人材・技術）、資金を活かす、地域主導型の自然エネルギー事業

→自然エネルギーの普及と地域経済の活性化の両立

## 2 プロジェクトの進め方

ステップ1 諏訪湖流域下水道事務所の屋根借りによる太陽光発電事業の知見や事業ノウハウを蓄積し、その手法の普及

(第1弾 H24. 10. 30 公募)

→県がプロデュースしたプロジェクトで得られる技術面・事業運営面などの事業ノウハウを、屋根借り事業者である岡谷酸素株式会社が積極的に公開、さらに、自然エネルギー信州ネットがわかりやすく整理・分析してビジネスモデルを全県へ普及するため三者協定を締結。



(H25.5.31 協定式概要)

ステップ2 第1弾により得られた知見等を活用した太陽光発電事業の普及促進